上野小学校だより

令和２年８月３日
第５号
勝浦市立上野小学校
HP http://www.chiba-a.jp/ueno-e/

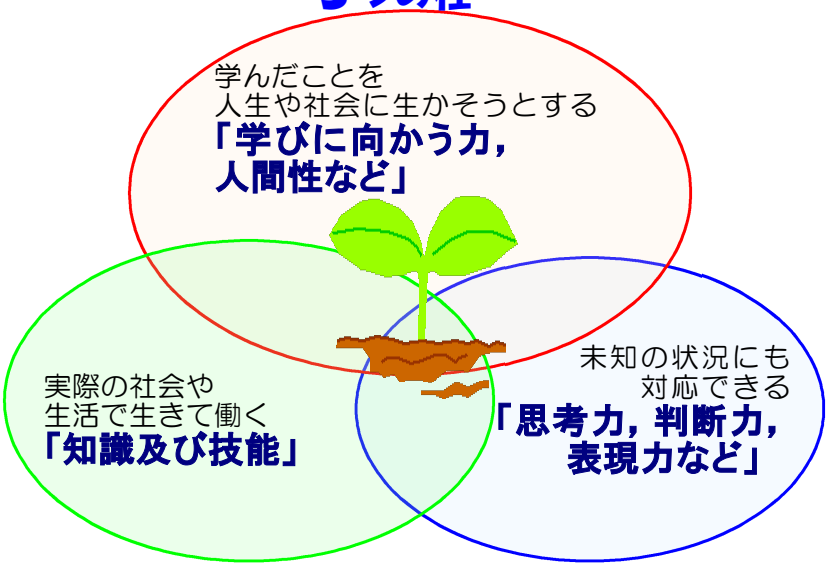
例年よりも遅い梅雨明けとなり，いよいよ暑さの厳しい季節となりました。８日から子供たちが楽しみにしている夏休みに入ります。今年は，１６日間と例年より短いお休みとなりますが，家族との時間を大切に、充実した楽しい夏休みをお過ごしください。

新学習指導要領実施に伴い，通知表「あゆみ」が変わります

新型コロナウィルス感染症予防による臨時休校に伴い，お子さまの学習状況の評価をお知らせする通知表「あゆみ」をお渡しする時期については，１０月中旬，３月末の２回に変更したことは以前お伝えしている通りです。

本年度より，新学習指導要領がスタートしました。学習指導要領は，文部科学省が定める教育課程の基準となるもので，時代の変化や社会のニーズを踏まえ約１０年ごとに改訂が行われます。グローバル化や人工知能・AI などの技術革新が急速に進み，社会の変化が激しく未来の予測が困難な時代の中で，子供たちには変化を前向きに受け止め，主体的によりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。新学習指導要領では，子供たちに育む資質・能力を３つの柱として示し，バランスよく育んでいくことを目指しています。

育成を目指す資質・能力 ３つの柱



学ぶ内容はどう変わる？

外国語教育
３・４年生で外国語活動（週１時間），５，６年生で教科として「外国語」（週２時間）を実施。

道徳教育
「特別な教科　道徳」（週１時間）を新設。「考え議論する授業」を通して道徳性を育みます。

プログラミング教育
コンピューターに意図した処理を行わせるプログラミング的思考を育む授業が必修化。

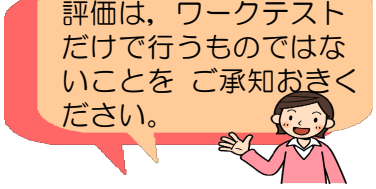
※この他にも「体験活動」「防災・安全教育」などの充実が図られます。

通知表の評価が変わります！

（１）**教科の評価観点が４～５観点から３観点に変わります。**

＜これまでの評価観点＞
①関心・意欲・態度
②思考・判断・表現
③技能
④知識・理解

＜新しい評価観点＞
①知識・技能　「何を理解しているか，何ができるか」
○身に付けるべき知識やスキルを，十分に習得している。
②思考・判断・表現「理解していること，できることをどう使うか」
○話し合い活動や発表，レポート，作品制作など多様な活動を通して課題に向き合い自分で考え解決する力や，友達と協力してよりよい解決方法を見つけだす力，自らの思いを表現する力を高めている。
③主体的に学習に取り組む態度「どのように学習に取り組むか」
○自ら目標をもち，ねばり強く学習に取り組むとともに，学習の進め方について見通しをもち，課題の解決に向け試行錯誤するなど，主体的に学ぼうとしている。



（２）５，６年生の外国語については文章による評価でしたが，今年度より評定（１・２・３）で評価されます。３，４年生の外国語活動については，文章による評価です。

新学習指導要領の実施にあたり，学校では「子ども達が自ら考え，表現する力を高める」授業づくりに取り組んでいます。１学期は，授業参観の実施が叶いませんでしたが，お子様の作品やノート等をぜひご覧いただき，お子様と学習の様子や学校生活についてお話していただければと思います。